

XTOOL | **F1 Lite**

クイックガイド



目次

内容物一覧	1
xTool F1 Liteの紹介	2
機器の準備	4
xTool F1 Lite 使用	6
その他の作業	8
回転装置の使用	10
メンテナンス	13

* オリジナル説明書の翻訳

内容物一覧



xTool F1 Lite



パイプ



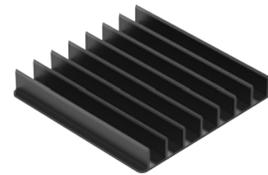
電源アダプタ



電源コード



USBケーブル



スラットパネル



L字型位置決めパーツ



不織布 (リントフリーの布)



鍵 (スペアパーツ)



グリース



素材パック



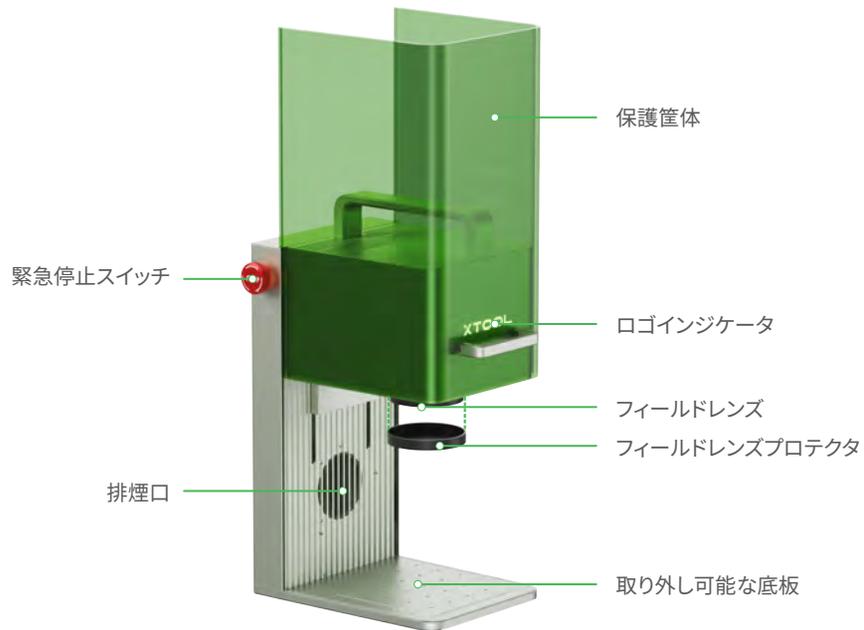
クイックガイド



安全上のご注意

xTool F1 Liteの紹介

製品の構造



インジケータの説明



ロゴインジケータ	ノブインジケータ	機械の状態
常時点灯	● 白色常時点灯	ソフトウェアに接続されていません
	● 黄色常時点灯	ネットワークの設定中
	● 青色常時点灯	ソフトウェアに接続されています
	● 緑色常時点灯	タスク完了
	● 紫色常時点灯	ファームウェア更新中
	● 赤色常時点灯	エラーが発生しています
点滅	● 赤色で3回点滅	無効な操作
消灯	● 青色常時点灯	タスク実行中
	○ 白色でゆっくり点滅	10分以内に操作をしないとスリープ状態になります。

仕様

製品名	xTool F1 Lite
サイズ	179 mm × 235 mm × 334 mm
内部操作領域	115 mm × 115 mm
最大加工速度	4,000 mm/s

接続モード	Wifi, USB, hotspot
入力電源	24 V ≒ 3.5 A, 84 W
レーザーモジュール	445 ± 15 nm 青色レーザー
レーザー電源	10 W

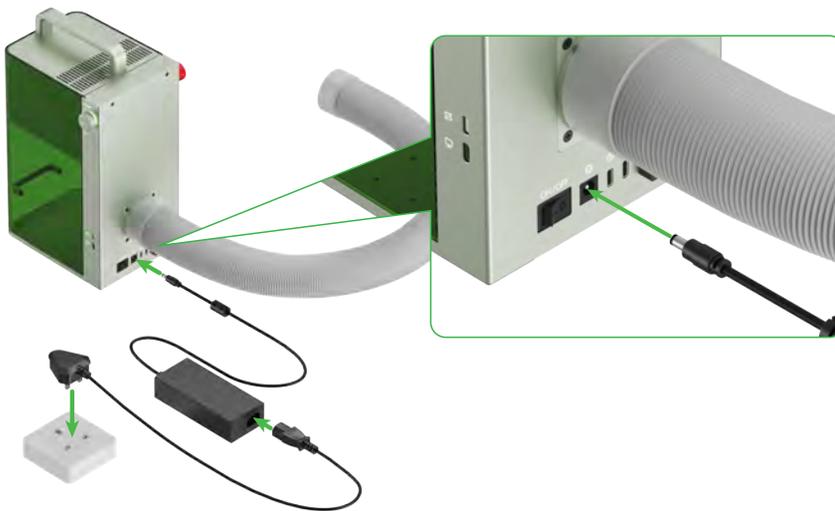
機器の準備

- 1 パイプを取り付けます。

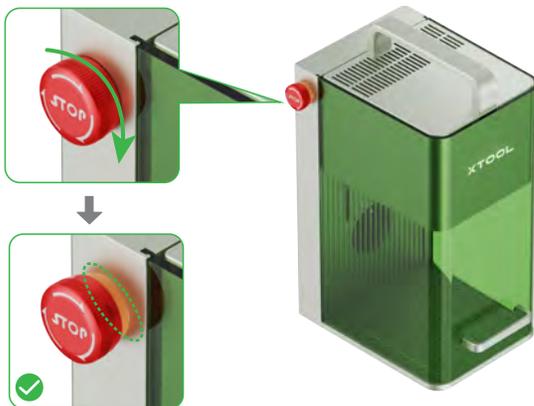


 デスクトップ煙清浄機が必要な場合、清浄機を購入し、ユーザーマニュアルの説明に従ってxTool F1 Liteに取り付けます。

- 2 電源に接続します。



- 3 緊急停止スイッチが解除されていることを確認します。押し下げられている場合は、回して解除します。



緊急停止スイッチ

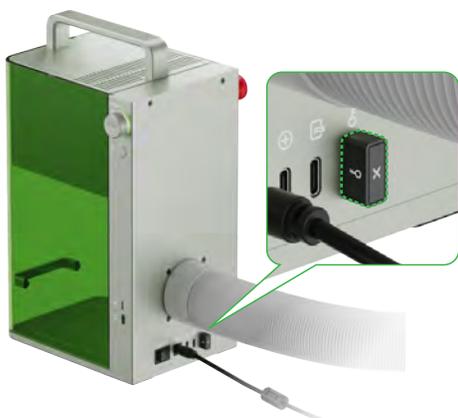
緊急事態が発生した場合、緊急停止スイッチを押して、機器の電源をオフにすることができます。



緊急事態に対応した上で、機器をリセットする目的で緊急停止スイッチを回すこともできます。



4 鍵が正しく差し込まれていることを確認します。



アクセスコントロール キー

鍵を外すと、機器の加工や他の関連機能を無効にすることができます。

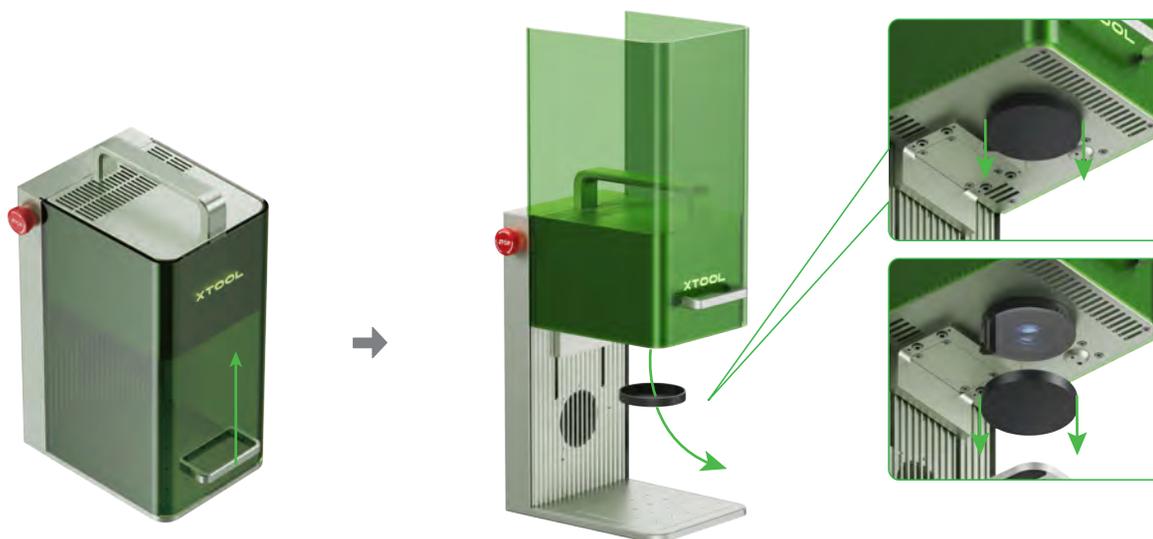
インターロック コネクター

キーは、インターロック コネクターとしても使用できます。詳しくはsupport.xtool.com/article/1367へ。



support.xtool.com/article/1367

5 フィールドレンズプロテクタを取り外します。



機器を長い期間使用しない場合は、フィールド レンズにほこりがつかないようにするためにプロテクターを再び取り付けることができます。機器を使用する前に毎回プロテクターが外されていることを確認してください。

xTool F1 Lite 使用

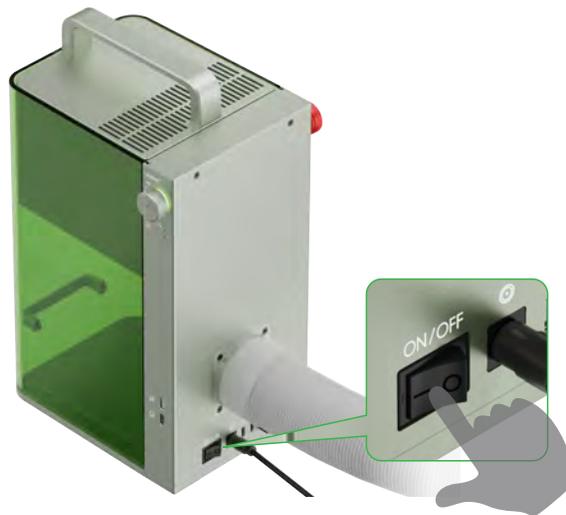
1 電源オン

電源スイッチを押して、xTool F1 Liteの電源を入れます。



緊急停止スイッチを電源スイッチとして使用しないでください。

緊急事態が発生した場合にのみ、緊急停止スイッチを使用してください。機器の電源をオン/オフするために緊急停止スイッチを電源スイッチとして使用すると、機器が損傷するおそれがあります。



2 xTool F1 Liteを操作するためのソフトウェアの使用法

コンピューターの場合

(1) makeblock.com/cn/docs/xtool-jpにアクセスし、xTool Creative Space (XCS) をダウンロードしてインストールします。

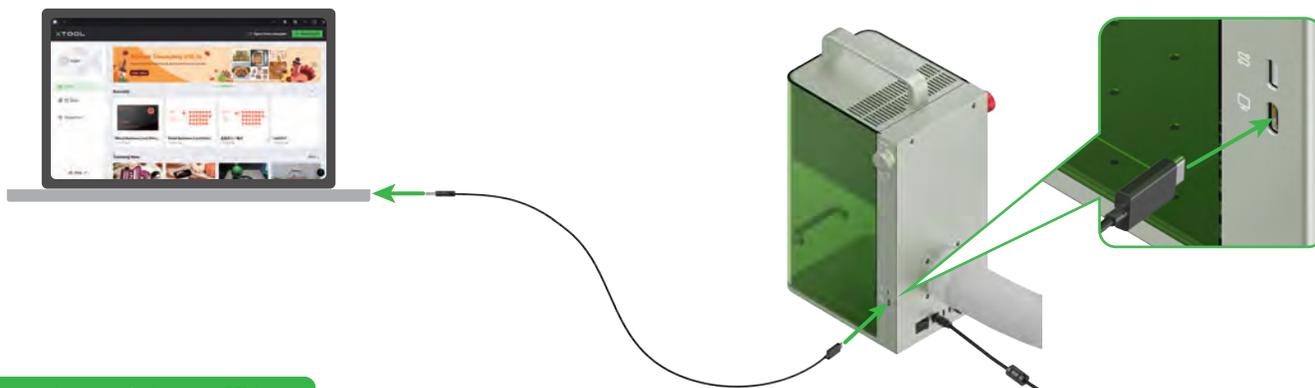


xtool.com/software



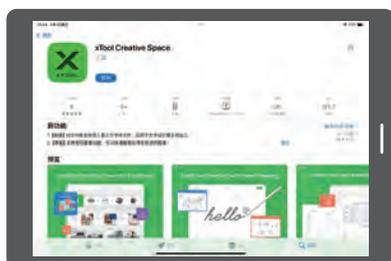
xTool Creative Space

(2) USBケーブルを使用して、xTool F1 Liteをコンピューターに接続してから、ソフトウェアでxTool F1 Liteに接続します。



モバイル デバイスの場合

QRコードを読み取るか、Google PlayまたはApp StoreでxTool Creative Spaceを検索するか、makeblock.com/cn/docs/xtool-jpにアクセスしてダウンロードとインストールを行ってください。



アプリのオンラインの説明に従って、アプリでxTool F1 Liteに接続します。

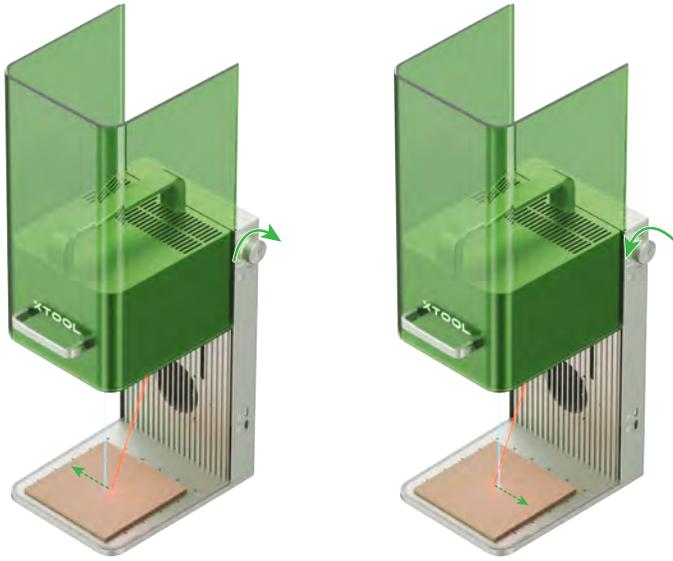
XCSを使用してxTool F1 Liteを操作し、素材を加工する方法についての詳細は、QRコードをスキャンするかmakeblock.com/cn/docs/xtool-jpをご覧ください。



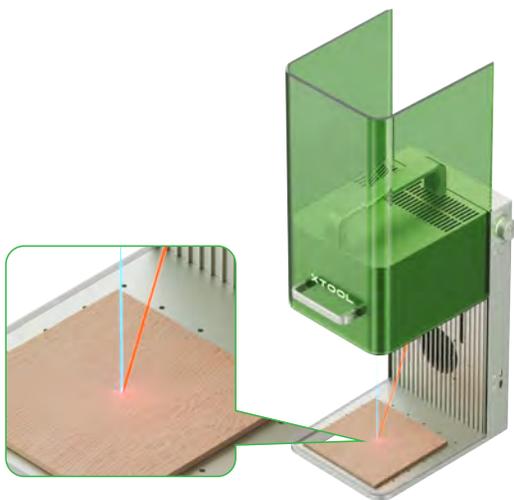
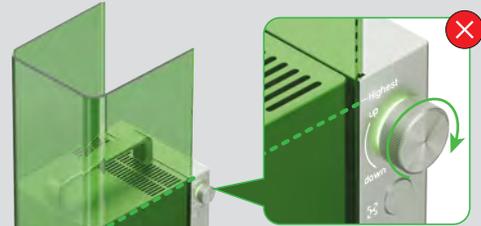
その他の作業

手動焦点合わせの設定

ノブを回し、レーザーヘッドを上下に移動します。赤い光と青い光の照らす点が重なった場合、焦点合わせは成功しています。

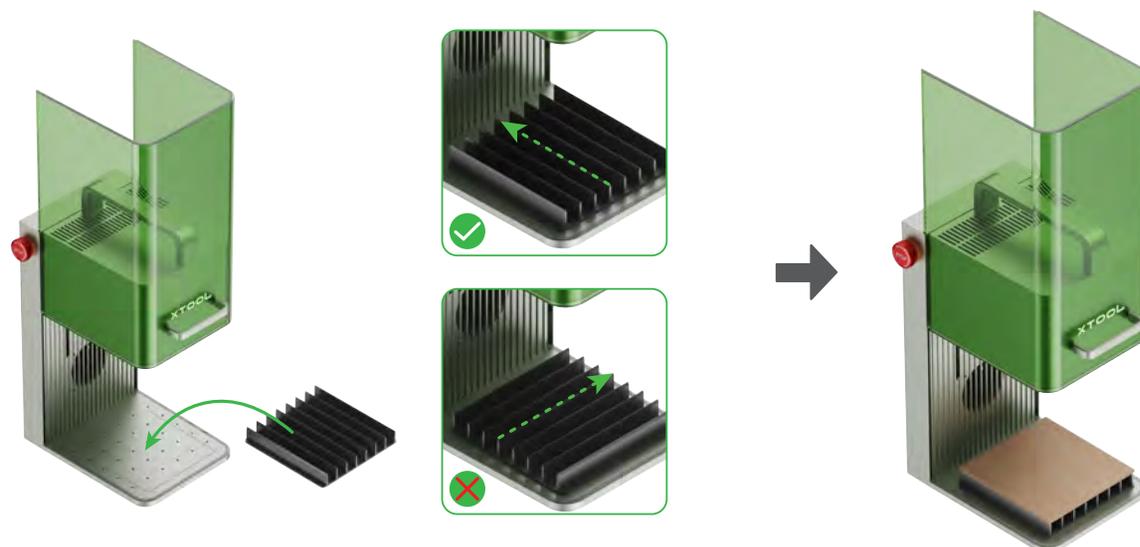


⚠ レーザーモジュールの底が一番高くなったら、もうノブを上
に回さないでください。



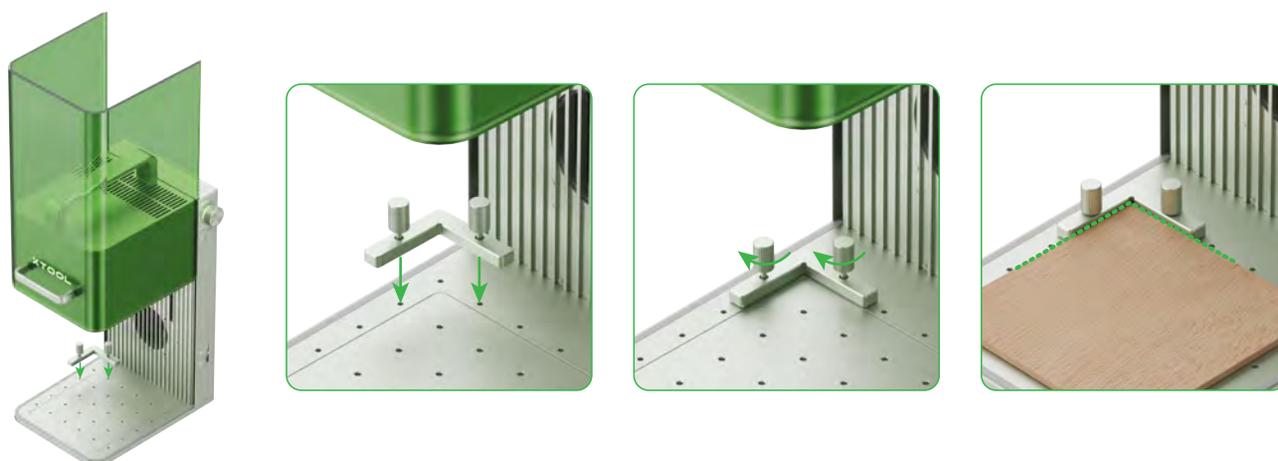
スラット パネルの使い方

材料をレーザーカットする場合は、スラット パネルを使用することをお勧めします。材料加工時の焼け焦げ部分を減らすことができ、ベースプレートを保護することができます。



L字型位置決めパーツの使い方

大量加工を行う場合、L字型位置決めパーツを使うと、素材を毎回同じ位置に置くのに役立ちます。



回転装置の使用

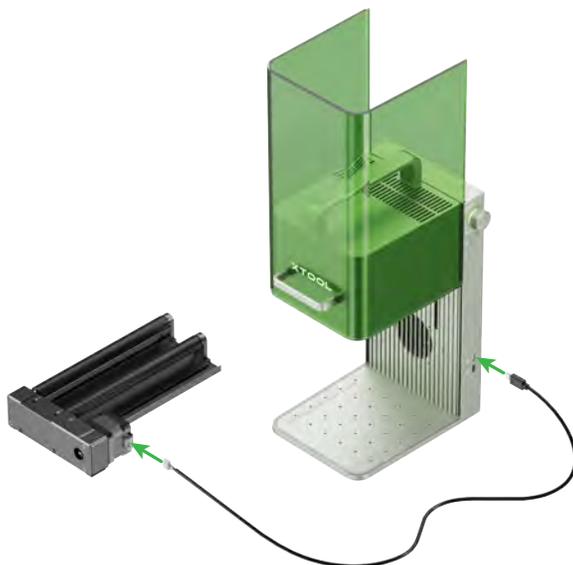


💡 ロータリーアタッチメントは別売りです。

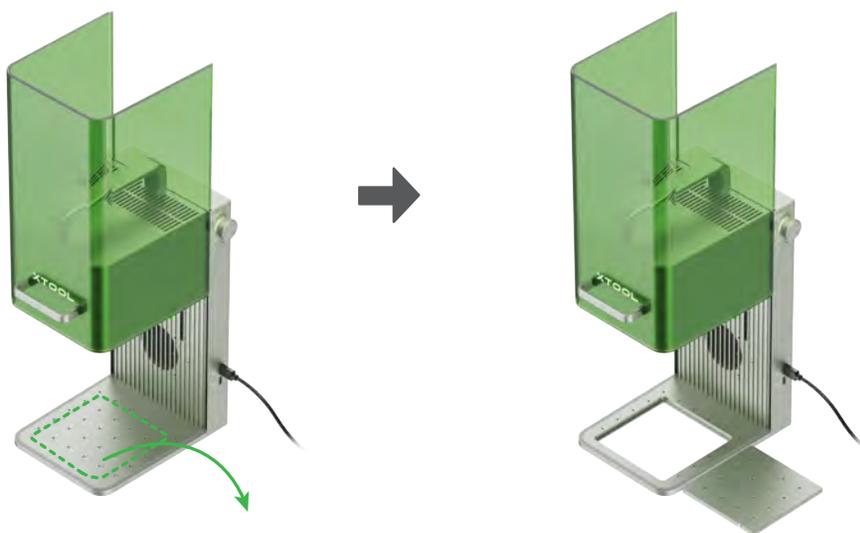


xTool F1 Lite とロータリーアタッチメントを使用する際は、安全に関する指示に従ってください。レーザー安全管理者（LSO）の指導の下、安全管理区域を設定し、レーザーリスクに対する十分な個人防護措置を講じてください。

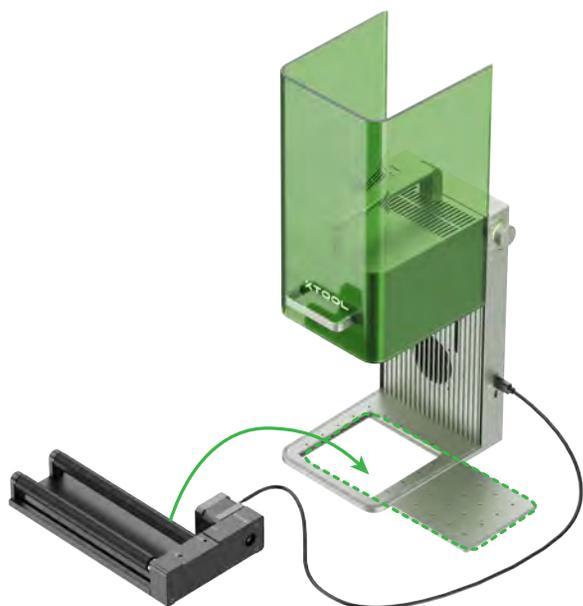
1



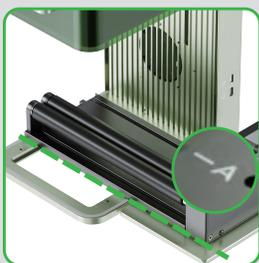
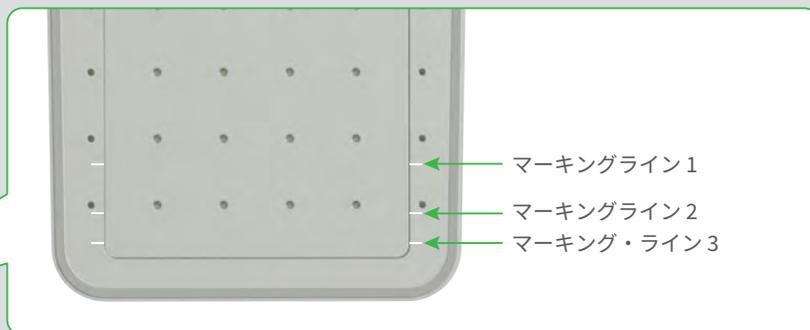
2



3



xTool F1 Liteのベースには3本のマーキングラインがあります。ロータリーアタッチメントの作業モードとレベル設定に応じて、その前面下端を対応するマーキングラインに合わせてください。



マーキング・ライン 1 に合わせる



マーキング・ライン 2 に合わせる。



マーキングライン3に合わせる



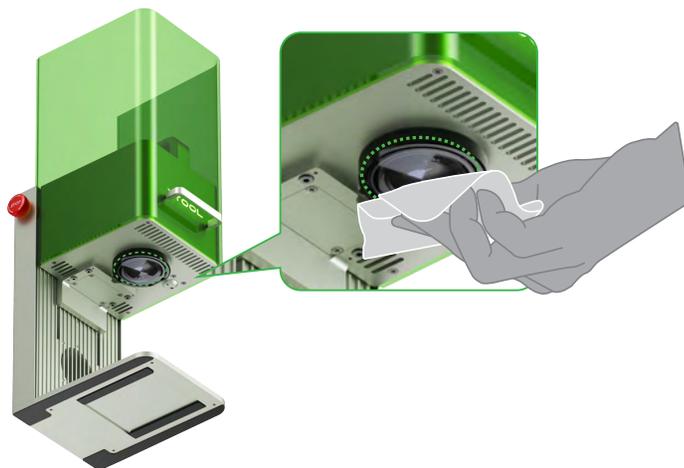
回転アタッチメントを使用した xTool F1 Lite の使用方法については、QR コードをスキャンするか、support.xtool.com/product/2 を参照してください。



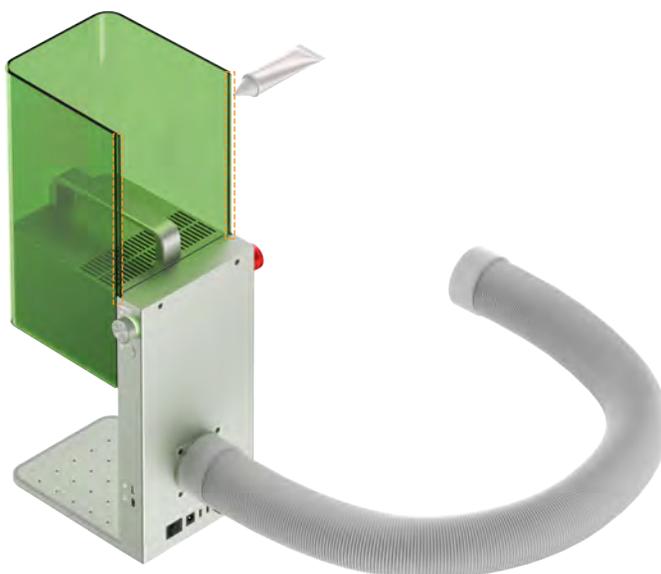
メンテナンス

 製品をメンテナンスする前に、電源を切断してください。

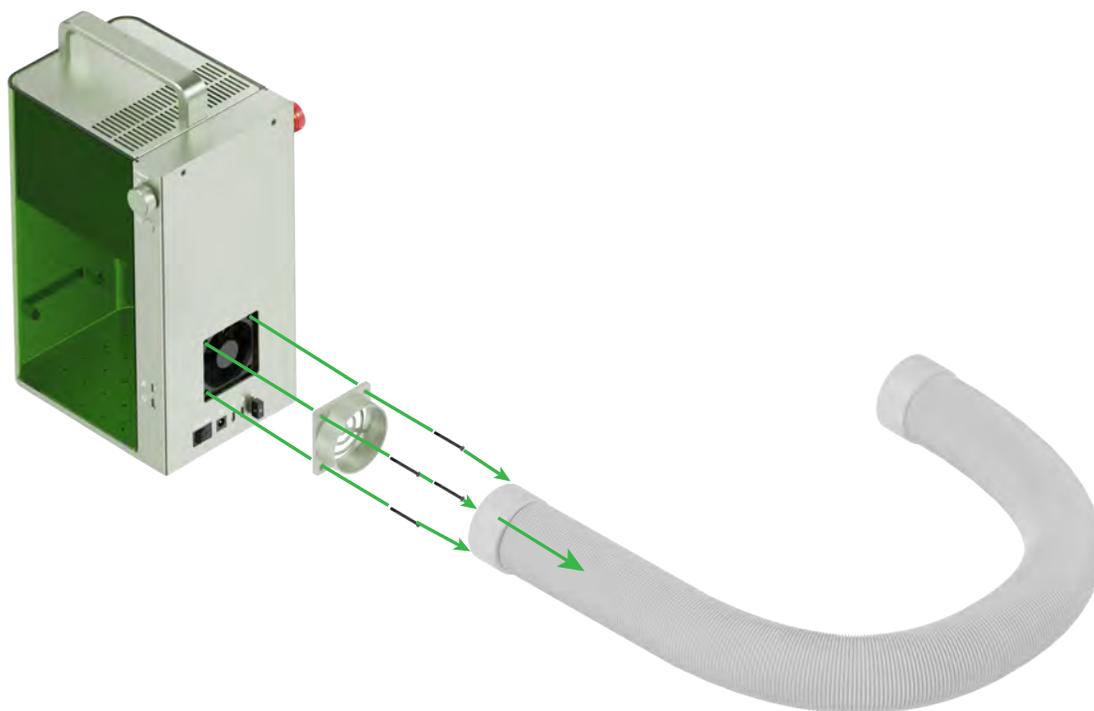
■ レーザーの出力低下が発生し、たとえば、彫刻パターンが狭くなるか素材が予期したとおりに切断できない場合、フィールドレンズが汚れている可能性があります。不織布（リントフリーの布）をアルコールで湿らせ、レンズを清掃します。



■ 保護筐体を上下に滑らかに移動することができない場合、両端の縁にグリースを塗布します。



■ 煙が保護筐体の外側にあふれ出す場合、ほこりが付着し、ファンと煙排出口が動作を妨げている可能性があります。ほこりを取り除き、煙を正しく排出できるようにします。



回路基板にほこりが落ちることを防止するために、機器をわずかに傾けてください。

XTOOL